

第6学年 音楽科 年間指導計画

目標

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

年間指導計画

学期	題材名・教材名	学 習 内 容
前	つばさをください 笑顔でワ・ハ・ハ おぼろ月夜 音の重なりとひびき マルセリーノの歌 (鑑)ハンガリー舞曲 第5番	長調や短調の響きの変化を感じ取って表現したり聴いたりする。
期	ひびき合いを生かして ロック マイ ソウル カノン (鑑)カノン 演奏のみりょく (鑑)交響曲第5番「運命」 語りあおう われは海の子 音楽のききどころ (鑑)バイオリンとピアノの ためのソナタ 第4楽章 豊かな表現を求めて 明日を信じて ス ワンダフル	声や楽器の響き合う美しさを味わって表現したり聴いたりする。 様々な演奏による音楽表現の違いを感じ取り、そのよさを味わって聴く。 歌詞の内容を味わい、曲想を生かした表現を工夫しながら、表情豊かに歌う。 主な旋律がバイオリンとピアノによって繰り返され、曲が進んでいくよさやおもしろさを見つけながら聴く。 音楽の仕組みをいかし曲想をとらえて、楽曲に合った表現を工夫する。 パートの役割や、ほかのパートとのかかわりを意識し、聴き合いながら演奏を楽しむ。

後 期	<p>私たちの国の音楽 越天楽今様 (鑑) 春の海</p> <p>音楽に思いをこめて ふるさと (鑑) 交響曲第9番 「新世界より」 家路 さようなら (鑑) 別れの曲 君が代</p> <p>ラストコンサートの曲 卒業式の歌</p>	<p>日本の伝統的な旋律の特長を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。 箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。</p> <p>作曲者の思いを想像しながら、楽曲を味わって聴く。 歌詞の内容を味わい、言葉を大切にしながら楽曲に込められた思いを感じ取って歌う。 楽曲の盛り上がりを感じ取って聴いたり、歌ったりする。</p>
--------	--	---

※ 上記の曲以外にも、歌やリコーダーの教材などを実態に応じて取り入れます。

評価について

★ 次のような方法を総合的に組み合わせて評価していきます。

- 音楽への関心・意欲・態度
毎時間の授業で歌唱・楽器演奏・発言・学習プリント・準備物などから評価します。
- 音楽的な感受や表現の工夫
歌やリコーダー演奏・合奏の際、表現の方法を考え演奏のしかたを工夫しているかを、授業での様子や演奏の発表などで評価します。
- 表現の技能
個別の技能テストや演奏の発表などで評価します。
- 鑑賞の能力
鑑賞の様子や身体表現、鑑賞後の意見や感想、学習プリントへの記入などから評価します。

※ 学習プリント、歌やリコーダーの発表会、ペーパーテスト、学習の様子などで評価し、子ども達のやる気や学習指導に生かしていきます。